

ちくらの会 第14回見学会開催のお知らせ

平成27年7月

雨模様の日々の中、気まぐれな晴れ間に見る新緑の美しさにはっとする今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

ちくらの会第14回見学会のお知らせです。

今回は、昨年末に新館とともにリニューアルオープンした「東京都庭園美術館（旧朝香宮邸）」を見学します。

美しいアールデコ様式の建築と、隣接して建てられた新館との新旧の調和も楽しい美術館です。

展覧会内容が「アールデコの邸宅美術館」という建築を見るためのプログラムとなっておりますので、

今回は自由見学となりますが、この展覧会の期間のみ（平日限定）本館内の写真撮影が可能になります！

この機会に、是非ご参加いただければと思います。

○日時

平成27年7月28日（火）

14:00～16:00

（13:50に庭園美術館入り口にて集合）

○場所

東京都港区白金台5-21-9

HP：<http://www.teien-art-museum.ne.jp/>

- ・JR山手線「目黒駅」東口、東急目黒線「目黒駅」正面口より徒歩7分
- ・都営三田線・東京メトロ南北線「白金台駅」1番出口より徒歩6分
- ※白金台駅のエレベーターは2番出口にございます。



※HPより転載

○参加費

観覧料：800円（税込）※庭園も入場できます

○問い合わせ・参加申し込み先

関知加子 ckk@seki-arch.com まで、お名前と緊急連絡先を記載の上、メールにてお申し込みください。

※申し込み締め切り：7月23日（木）

※今回は20名様以上で団体割引適用となりますので、みなさまふるってご参加くださいませ！

○建物概要

東京都庭園美術館（旧朝香宮邸）は、1910年代から30年代にかけてヨーロッパを席卷したアール・デコとよばれる装飾様式を、パリ滞在中実際に見聞された朝香宮ご夫妻の意思によって取り入れ、1933（昭和8）年に邸宅として建てられたものです。

当時を代表するフランス人装飾美術家アンリ・ラパンに、主要部分の内装を依頼し、ルネ・ラリックもこれに参加しています。また、基本設計および内装は、宮内省内匠寮の建築家・権藤要吉氏が担当されました。

1993（平成5）年には東京都指定有形文化財（建築物）に指定され、本年5月には重要文化財（建造物）にも指定されます。

また、旧朝香宮邸の魅力を生かしながら美術館としての可能性を広げるために、2014（平成26）年ホワイトキューブのギャラリーを擁する新館が竣工し、新たな一面が加わりました。

（美術館HPより抜粋/関 知加子）

「築楽（ちくら）の会」

TownFactory 一級建築士事務所／太田陽子
株式会社 イエサブユナイテッド／荘司美智子
関建築設計室／関知加子